

科目名	経営管理 1							年度	2026
英語科目名	Management 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	井上勝	教員の実務経験		有	実務経験の職種		税理士（税理士事務所勤務）		

【科目の目的】

企業経営全般に関する知識を横断的に身に付け、柔道整復師として接骨院を開業する際の一助とする。

【科目の概要】

経営管理に必要な財務諸表の知識及び税務の基礎、並びに経営者としての心構えを学びます。

【到達目標】

会社法の基礎、貸借対照表、損益計算書に代表される財務諸表とそれぞれの関係、作成手順、企業の資産・負債・純資産に係る財政状態や経営成績について理解し、現場で利益を上げていくために必要なコストコントロールやターゲティング、マーケティングの手法、或いはホームページやブログの活用法を通じて、企業経営全般に関する知識を横断的に身に付け、柔道整復師として接骨院を開業する際の一助とできる。

【授業の注意点】

講義形式にて授業を行う。法人活動の全容を把握し管理するため、またその結果を社会に開示するための基礎的仕組みやルールを理解し、柔道整復師として接骨院を開業するにあたって必要な経営管理、税務の基礎を身に付けることを目指す。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	一般的な会社の種類について完全に理解している。	一般的な会社の種類について大体理解している。	一般的な会社の種類について部分的に理解している。	一般的な会社の種類についての理解がやや不足している。	一般的な会社の種類について理解していない。
到達目標 B	貸借対照表について完全に理解している。	貸借対照表について大体理解している。	貸借対照表について部分的に理解している。	貸借対照表について理解がやや不足している。	貸借対照表について理解していない。
到達目標 C	損益計算書について完全に理解している。	損益計算書について大体理解している。	損益計算書について部分的に理解している。	損益計算書についての理解がやや不足している。	損益計算書について理解していない。
到達目標 D	利益を上げる方法について完全に理解している。	利益を上げる方法について大体理解している。	利益を上げる方法について部分的に理解している。	利益を上げる方法についての理解がやや不足している。	利益を上げる方法について理解していない。
到達目標 E	マーケティングについて完全に理解している。	マーケティングについて大体理解している。	マーケティングについて部分的に理解している。	マーケティングについての理解がやや不足している。	マーケティングについて理解していない。

【教科書】

試験と課題を総合的に評価する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

会社法の基礎、貸借対照表、損益計算書に代表される財務諸表とそれぞれの関係、作成手順、企業の資産と負債の対照表、経営成績の判断について理解し、現場で利益を上げていくために必要なコストコントロールやターゲティング、マーケティングの手法、或いはホームページやブログの活用法を通じて、企業の経営資源に関わる知識を横断的に身に付け、柔道整復師として接骨院を開業する際の一助とできる。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		経営管理 1			年度	2026
英語表記		Management 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	一般的な会社の種類①	近年における法人設立の傾向と統計を踏まえて①	1 用語の意義	法律用語について理解する。	3	
			2 合名会社の特徴	合名会社の特徴について理解する。		
			3 合資会社の特徴	合資会社の特徴について理解する。		
2	一般的な会社の種類②	近年における法人設立の傾向と統計を踏まえて②	1 株式会社の特徴	株式会社の特徴について理解する。	3	
			2 合同会社の特徴	合同会社の特徴について理解する。		
			3 法人設立件数の推移	統計資料より法人設立件数の推移を理解する。		
3	財務諸表①	資産、負債、純資産の定義、及び貸借対照表の役割について。	1 財務諸表の種類	財務諸表の種類について理解する。	3	
			2 用語の意義	資産・負債・純資産の意義について理解する。		
			3 貸借対照表の役割	貸借対照表の役割について理解する。		
4	財務諸表②	収益、費用、利益の定義、及び損益計算書の役割について。	1 貸借対照表の復習	貸借対照表全般について理解する。	3	
			2 用語の意義	収益、費用、利益の意義について理解する。		
			3 損益計算書の役割	損益計算書の役割について理解する。		
5	財務諸表③	貸借対照表と損益計算書の相関性について。	1 損益計算書の復習	損益計算書全般について理解する。	3	
			2 相関性について	相関性について理解する。		
			3 純資産の役割	純資産の役割について理解する。		
6	財務諸表④	貸借対照表と損益計算書の作成手順について。	1 作成手順の流れ	作成手順の一連の流れについて理解する。	3	
			2 証憑類の保存方法	証憑類の保存方法について理解する。		
			3 仕訳帳の作成	仕訳帳の作成について理解する。		
7	財務諸表⑤	財務諸表の作成（実践）について。	1 仕訳帳の作成	仕訳帳の作成について理解する。	3	
			2 貸借対照表の作成	貸借対照表の作成について理解する。		
			3 損益計算書の作成	損益計算書の作成について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 法人設立の傾向	近年における法人設立の傾向について理解する。	3	
			2 貸借対照表の役割	貸借対照表の役割について理解する。		
			3 損益計算書の役割	損益計算書の役割について理解する。		
9	利益を上げる方法①	売上上の構成要素について。	1 売上の意義	売上の意義について理解する。	3	
			2 売上上の構成要素	売上上の構成要素について理解する。		
			3 売上を増やす方法	売上を増やす方法について理解する。		
10	利益を上げる方法②	マーケティングについて。	1 マーケティングの意義	マーケティングの意義について理解する。	3	
			2 ベネフィットの意義	ベネフィットの意義について理解する。		
			3 マーケティング戦略	マーケティング戦略について理解する。		
11	利益を上げる方法③	マーケティングの分析ツールについて。	1 3C	3Cについて理解する。	3	
			2 4P	4Pについて理解する。		
			3 分析ツールの実践	分析ツールを実践し活用出来る力を養う。		
12	利益を上げる方法④	経営資源とコスト配分、コストの分類、リース取引について。	1 経営資源の意義	経営資源の意義について理解する。	3	
			2 コストの分類	コストの分類方法について理解する。		
			3 リース取引の特徴	リース取引の特徴について理解する。		
13	利益を上げる方法⑤	コスト管理について。	1 コスト管理の意義	コスト管理の意義について理解する。	3	
			2 コスト管理の手順	コスト管理の手順について理解する。		
			3 コスト管理の影響	コスト管理の影響について理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 売上上の構成要素等	売上上の構成要素等について理解する。	3	
			2 マーケティング全般	マーケティング全般について理解する。		
			3 コスト管理全般	コスト管理全般について理解する。		
15	経営管理1のまとめ	前期の経営管理1全体の振り返り。	1 法人設立傾向全般	法人設立傾向全般について理解する。	3	
			2 財務諸表全般	財務諸表全般について理解する。		
			3 マーケティング全般	マーケティング全般について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等